

あることを痛感している。

〔追加〕 下出久雄 (国療東京病)

ナイアシンテスト陰性の人型結核菌を排出する症例を経験した。

23. 多発性骨髓炎の原因菌と思われる一抗酸菌株に関する研究 占部薫・斎藤肇 (広大細菌) 藤原誠 (若草園)

〔研究目的〕多発性骨髓炎の病巣部より分離され、その原因菌と思われる一抗酸菌株 (来住性) の分類学的位置づけをする。〔方法〕① 供試菌: 来住性ならびに対照菌株としてヒト型菌, ウシ型菌 Ravenel 株, トリ型菌, Mycobacterium (以下M,)terrae, M. gastris および M. tribiare の各1株ならびに M. intracellulare 3株。② 生物学的ならびに生化学的諸性状の検討: 集落性状: コード形成性; 発育温度域; 中性紅反応; ピロニン, ヒドロキシルアミン, デゾキシコール酸ソーダ, PAS, 亜硝酸ソーダおよび TCH に対する感受性; ナイアシンテスト; カタレース; 耐熱性カタレース; 酸性フォスファテース; 耐熱性酸性フォスファテース; アリルサルファテース; 硝酸塩還元作用; アセトアミド他計 12 種のアミド分解能; グルコース他計 16 種の含水炭素分解能; 焦性ブドウ酸他計 10 種の有機酸利用能。③ BCG 培養濾液からの 1 蛋白抗原による免疫家兎血清による寒天ゲル内沈降反応。④ 病原性の検討: マウス— 3.4×10^6 の生菌単位の尾静脈内接種。モルモット—1 および 5 mg の皮下接種。ニワトリ—1 および 5 mg の静脈内接種。ウサギー

1 および 10 mg の静脈内接種ならびに 0.01 mg および 0.001 mg の腹部皮内接種。〔成績〕① 生物学的および生化学的諸性状: 集落は灰白色, R 型, nonphotochromogenic. コード形成性陽性。中性紅反応陽性。33 C, 37 C で発育可能, 22 C, 42 C で不能。0.03% ピロニン耐性。125 mcg ヒドロキシルアミン, 1.0% デゾキシコール酸ソーダ, 1,000 mcg PAS, 0.15 M 亜硝酸ソーダおよび 10 mcg TCH 感受性。ナイアシンテスト陰性。カタレース弱陽性。耐熱性カタレース陰性。酸性フォスファテースおよび耐熱性酸性フォスファテース陰性。アリルサルファテース陽性。硝酸塩還元陽性。ユリエース陽性。グルコース, マンノースおよびトレハロース分解。酢酸, 焦性ブドウ酸, フロピオン酸, 乳酸利用。② 来住株と対照菌株との間の S-Value: ウシ型菌とは 90.9% で最も類似性が高く, 他の菌株とのそれは比較的低率。③ 沈降反応: 来住性ではウシ型菌および BCG 株と同じく, 1 本の沈降線が認められたが, 他の菌株ではすべて陰性。④ 動物実験: いずれの供試動物にも内臓に肉眼的病変陰性, またそれらよりの発育菌量もマウスでは概して少なく, ウサギ, モルモットおよびニワトリではほとんど陰性。ウサギ皮内接種で, ウシ型菌では局所に治癒傾向のない潰瘍形成, 来住株では 6 週後消退の発赤, 腫脹に止まった。〔結語〕来住株は現在までの所見により, 弱毒ウシ型菌が疑われるが, 今後更に BCG とも十分比較して確かめる。

訂 正

Vol. 43, No. 9 に誤りがありましたので訂正いたします。
p. 365 上から 4 行目 大久保文造 → 古久保文造

英国グラクソ社の造影剤		健保適用	
DIONOSIL	水性	気管支 喉頭 上顎洞	造影剤
	油性		
ディオノジール		包装	15ml 及び 60ml バイアル 瓶入
<ol style="list-style-type: none"> 極めて鮮明な影像 吸収良く 24 時間後に殆んど消失 刺激少なく副作用がない 			
MYODIL		脊髄 脳室 リンパ系	造影剤
マイオジール		包装	3ml × 3 A
<ol style="list-style-type: none"> 細部も鮮明に影像 流動性に富み注入容易 安定で刺激が少なく副作用がない 			
輸入元	新日本実業株式会社	販売元	鳥居薬品株式会社